

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：阿久和保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：小林 優子	定員（利用人数）：94名	
所在地：246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西2-28-13		
TEL：045-362-6005	ホームページ： http://www.sanno-heiseikai.jp/akuwawp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2008年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山王平成会		
職員数	常勤職員：27名	非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士 26名	栄養士 3名
	調理師 1名	看護師 1名
施設・設備 の概要	（居室数）	
	保育室 6室	ホール 2
		休憩室 2
		事務室 1

③理念・基本方針

<保育理念>

こどもの最善の利益を第一義として、家庭や地域との連携を図り、こどもの発達を促します。

<基本方針>

1. 家庭や地域社会と心を通わせ、積極的、意図的に交流および協力しあい「共に育つ、育てる」の関係を構築します。
2. 子どもが家庭と保育園という異なる場所でその1日を安心して生活できるように二つの生活領域を連携・継続させます。
3. 愛されている、受け入れられているという心地良さを感じながら、仲間と共に生きる力の基礎となる、生活する力・遊ぶ力・考える力・楽しむ力を身につけます。
4. 家庭や地域社会からの保育(子育て)や園全般に関する要望・意見・相談は温かく受け止め分かりやすく対応し、より良い保育のための研鑽に努力すると共に社会責務を果たします。
5. 職員は笑顔で愛情深く、向上心にあふれ、楽しく元気いっぱい、夢いっぱいのこども大好きな人間像を目指します。

④施設・事業所の特徴的な取組

多様な福祉サービスが利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として福祉事業を行う。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年 4月 14日（契約日） ～ 2020年 12月 25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2015年度）

⑥総評

【施設・事業所の概要】

●阿久和保育園は、相鉄線三ツ境駅または希望が丘駅から徒歩で約20分強であり、バスでは谷戸阿久和のバス停下車、徒歩3分位のところにあります。周辺は戸建ての住宅地で、まだ自然が多く残り、園の両側には阿久和向原公園、阿久和向原第二公園、少し離れて阿久和小金第二公園、足を延ばせば大きな瀬谷狹公園もあり、子どもの発達段階に応じて活用できる公園が多くあります。また、土の肥えた畑も点在する等、豊かな環境に恵まれ、地域の農家の方の協力を得て、じゃがいも掘り等の貴重な体験ができる等、子どもたちの楽しいイベントの1つとなっています。子どもたちが収穫した芋類は昼食で提供される等、食育を兼ねた楽しみが多くあります。

●阿久和保育園の園長をはじめ、主任や職員の対応が明るく、声に笑顔があり、その雰囲気は園全体に広がっています。法人の理念である「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」を根幹に、園の保育理念として、「こどもの最善の利益を第一義として、家庭や地域との連携を図り、こどものもの発達を促します。」とし、園目標では、「自然の中で、たくましく、育ち合う子ども」を掲げ、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、保護者と職員が一体となり、保育に当たっている様子がとても感じられます。子どもは園庭や園内のホール（遊戯室）で伸び伸びと活動し、近隣の恵まれた公園でも思いっきり心身を開放して遊べる環境があります。今年はコロナ禍のため、多くのイベントが休止や縮小された園がありますが、阿久和保育園では、子どもたちの要望に応え、運動会も縮小の中、今季、大流行している“鬼滅の刃”を参考にした飾り付けを行い、催し物と同時に大変楽しんだとのことでした。子どもたちの要望を受け、大きな飾り付けは園の玄関ホールに飾って保護者にも披露し、参加できなかった保護者の心を癒し、子どもたちの成長をも表現していました。

◇特に評価の高い点

1. 【保育理念の実践】

●法人の理念「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」の基、園の保育理念として「こどもの最善の利益を第一義として、家庭や地域との連携を図りこどもの発達を促します。」を掲げています。この理念を実践するかのよう、職員が子ども一人ひとりの気持ちを受け止めて、保育に励んでいる様子の事例を観察できました。園のホール内で、一人の園児が何かあったのか泣きながら職員に訴えていました。すると、職員はホール内で多くの子どもが好むと言われている場所にその子どもを連れて行き、その場所に座らせ、自らは床に膝をつき、子どもの訴えを子どもの目を見ながら聴いていました。職員は、子どもの気持ちが落ち着くまで、ゆっくり話し、子どもが泣き止むまで対応している姿勢が印象的であり、子どもの気持ちや感情を受け止めて保育に励む職員の姿から理念の具現化を確認できました。

2. 【法人グループ保育園の有機的連携】

●横浜市内の保育園として、社会福祉協議会や区保育福祉部会等に定期的に参加し、得た情報を法人の全体園長会や同一法人の横浜4園園長会で生かし、地域特性の把握や地域の保育ニーズ等を綿密に検討し、経営の課題として提起する等、積極的に運営に関り、連携強化を図っています。特に、同一法人の横浜4園での園長会では、法人内の諸問題について透明性を図り、検討及び共有し、法人理念に基づいた園運営と統一ある意識をベースに、有機的連携により地域に対する園の活動にもプラス効果が見られています。一環として、法人本部は秋田市に所在し、園に秋田の名産である「あきたこまち」の新米が送られてくるので、例年、所属自治会や地域の子ども食堂に、「あきたこまち」を提供し、良好な関係を築き、地域に貢献しています。

3. 【働きやすい職場作りと福利厚生の充実の推進】

●職員の超過勤務(残業時間)について、翌日への身体の負担等も考慮して残業時間の縮小化を図っており、継続して促進を図っています。保育園は土曜日も開園しているため、休暇が取得し難い傾向にありますが、園では週休二日制を実行し、職員の健康管理にもメリットがもたらされています。また、休憩時間、長期休暇等の取得に向けてシフトの効率化を図り、働き方の見直しを進めており、福利厚生の充実、働きやすい職場改善の実践に取り組んでいます。

4. 【研修参加の推進】

●職員の資質向上、研修に法人・園は力を入れて取り組んでいます。年間研修計画を作成し、計画に基づいて園内外の研修へ積極的に参加を促し、シフト調整、参加できる体制を整えています。職員の自己申告でも参加が可能な体制を構築し、職員の意欲に応えられるよう、職員相互の協力を仰ぎ、知識・技術の習得をサポートしています。キャリアアップ研修等は優先的に受講を推進し、各職員のやる気につながっています。

◇改善を求められる点

1. 【職場環境の取り組みに向けて】

●阿久和保育園の業務改善において、Wi-Fi導入の推進を図っており、業務の多い園の事務作業の省力化・スピード化に大変寄与していると思います。今後も、IT化の促進は増していくことと思われます。しかし、その活用は、園の運営にメリットのある方法が望まれ、その為にIT機器の活用方法の決め事、マニュアル等の整備が急務です。なお、IT化は、保護者や職員の使用するIT機器の変革にも及び、職員会議等を含め、職員間、保護者とのコミュニケーションの方法が今後変化することも考えられます。この変化を先取りし、活用する方策等を定め、相互のコミュニケーションの円滑化を図っていくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 阿久和保育園

<評価に取り組んだ感想>

第三者評価受審を保育の質向上の機と捉え、園内研修を重ね「保育理念、保育基本方針、園目標、保育姿勢」について全職員で学び、理解を深め共通認識化を図りました。保育理念や基本方針を学ぶ過程で「どういう子どもに育てていくのか」「保育士の姿勢」等、保育の根幹について捉えなおすことができました。また、保育という仕事の尊さ、魅力を再認識でき、園全体で向上していく重要性を確認できたことが何よりも良かったと思いました。

第三者評価の「自己評価」を行う過程で、保育理念や保育基本方針が、保育全般に機能しているか、行き渡っているかを、現状と照らし合わせ捉えなおせたことは有意義且つ勉強になりました。

保育園職員一人ひとりが、保育に対する意欲、意識、子どもに愛情を持って接しているか、保護者支援は適切か等、自己に向き合う時間を持てたことは良かったと思いました。また、自己評価を討議する中で、多様な見方に気づき相互に学び合えたことは良かったと思います。

第三者評価機関・R-CORPORATIONによる調査は新型コロナウイルス感染予防に配慮いただき、安心して審査を受けることができました。調査者の方からは的確厳正、且つ保育全般にわたる助言をいただき大変勉強になりました。また、終始温かいまなざしを注いでくださり、今後に向け大いに励みとなりました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 利用者アンケートを全職員で確認し、保護者様の要望や思いを真摯に受けとめました。
2. 利用者アンケートから課題や問題点を抽出し、グループ討議を行い改善に向け取り組んでいます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり